

## 第107回二科展 巡回展(大阪展)



▲ 尼崎市総合文化センターと二科展看板

■ 大阪巡回展は11月30日より12月10日まで、昨年と同じ兵庫県の尼崎市総合文化センターで開催しました。絵画101点、彫刻6点、デザイン105点、写真123点の総出品点数335点。スペースの都合によって、かなり縮小した展示となりました。

■ 絵画部では、昨年度の反省から他部の協力を得てレイアウトを見直しました。その結果、巡回作品は12作品に制約されましたが、なんとか2点入選作品を含む支部メンバーの全作品を展示できるようになりました。狭さや暗さなど決して恵まれた展示ではありませんでしたが、今回は少しでも二科展のイメージを来場者に伝えるために、会場にモニターを設置。展示のできなかった絵画彫刻作品33点のスライドムービーを放映しました。

■ 総入場者は10270人と、昨年(11063人)と比べ減少しました。これは同じ関西の京都展の直後であったこと、例年より遅い開催時期、風邪やインフルエンザの流行の影響などが理由として考えられます。

■ 併催の「第72回こども二科展」や、デザイン部主催の「Web全国ポストカードデザイン大賞」などの展示に加え、地元尼崎の企業や施設とのタイアップによる二科大阪展の宣伝や入場メリットの創出など、阪神地域の秋の文化イベントとして幅広い世代に向けてアピールいたしました。

■ 絵画部の展示点数の内訳は全国巡回作品12点、関西の会員大作7点、会友22点、一般60点です。

■ 次回まで、同じ尼崎市総合文化センターでの開催が決まっております。ご協力をいただいた地元の方々の応援に応えるべく、「さすが二科展だ」と思ってもらえる展覧会になるよう努めて参りたいと思っております。  
 (絵画部会員/高畑 彰)

▼ 絵画部展示風景 ▼



モニターによるスライドムービー放映▶



大阪巡回展のチラシ▶



▲ 巡回展と同時開催された「こども二科」展示会場風景と表彰式風景 ▲

## ■ 彫刻部

出品点数 6 点 （会員 4 点、会友 1 点、一般 1 点）

会場を尼崎市総合文化センターに移して 2 年目となります。

今回も、絵画・デザイン・写真各部と空間を共有しての展示となりました。

会場が手狭なため彫刻部巡回展の作品は展示を取りやめ、展示点数は合計 6 点となりました。今年は、久しぶりに入選者が 1 名あり喜ばしいことでした。

昨年の反省から、四部で展示構成の仕方を検討し昨年より鑑賞しやすくなったと感じています。

（彫刻部会員 橋本和明）

### ▼ 彫刻部展示風景 ▼



## ■ デザイン部

昨年に引き続き尼崎市総合文化センター会場での展示について、前回の反省点を踏まえて各部協議を重ねました。

従来デザイン部では、全国巡回や部門別上位にランクされた作品を中心に、関西地区出品作品とを合わせて展示してきました。今回は関西地区出品作品をメインに、全国巡回作品を肉付けするかたちで展示しました。何分にも大阪市立美術館とは比べ物にならない少ない展示数なので、展示効果としてはある種限界に近い印象を禁じ得ませんでした。

展示構成は、● A部門=自由テーマポスター(B1) ● B部門=特別テーマポスター／「日本 ASEAN 友好協力 50 周年」(B1) ● C部門=自由テーマイラスト (B2) ● D部門=フリースタイル (B2) の例年通りの4部門です。

B部門の特別テーマについては、外務省後援による日本とASEANの人的交流を深め、アジア太平洋地域の平和と安定、発展と繁栄のために緊密な協力関係を築いた50年の節目として事業展開が実施されます。その告知ポスターとして応募・展示しました。

大阪展における展示数は、全国巡回作品67点(一般35点、会友8点、会員24点)及び、関西地区作品38点(一般25点、会友4点、会員9点)の計105点を展示しました。

また、全国ポストカード大賞は、Webでの作品募集を行い、今回3回目の作品展示となりました。ハガキサイズの小さな作品をB1パネル9枚に136点を展示し、いずれも力作揃いで好評でした。

108回展は尼崎市総合文化センターで、いよいよ109回展から大阪市立美術館開催となりますので有終の美を飾りたく努力いたします。

(二科会デザイン部関西地区事務局/田野 勝)

### ▼ デザイン部展示風景 ▼





▲ デザイン部展示風景と  
web全国ポストカードデザイン大賞の展示風景 ▶

## ■ 写真部

大阪市立美術館が改装中で兵庫県尼崎会場を借用し2年目になりました。

狭い会場と照明の暗さの中、四部の協力のもと飾り付けを無事終了し開催できました。来場者の皆様にはご不便をおかけ致しましたが、初日から大勢の来場者で賑わいました。こども二科展は長年の伝統があり、大変賑わっていました。表彰式には園児父兄が多数来られ、絵画の先生方の努力により盛大な催しになっております。写真部も2024年からヤング部門の募集が始まり楽しみです。後援のサンケイ新聞事業部の皆様には二科展では大変お世話になり感謝しております。

尼崎会場もあと1回ですが四部の皆様と協力して無事開催できるよう頑張りたいと思います。  
(写真部 大阪支部/水谷 勝昭)

## ▼ 写真部展示風景 ▼

